

第14回森吉山麓高原自然再生協議会議事録概要

蒔田会長あいさつ

皆さま今日はお集まりいただきありがとうございます。

森吉の再生事業も転機を迎え、今後この事業をどの様にして伝えていくかを含めてまだまだ考えなければいけないので、忌憚のない意見をお願いします。

本日は23年度の事業報告、調査報告、来年度の事業についての協議となっておりますのでよろしくお願いします。

報告事項1

事務局：(報告事項を資料により説明)

蒔田会長：土壌ブロック移植についてはブロックとブロックは接しているか。

事務局：ブロックとブロックは接しておらず、従来の植栽間隔である2.5m毎に配置しています。

蒔田会長：ブロックとブロックの間が2.5mか。

事務局：ブロックの中心からの間隔になります。

蒔田会長：ブロックの中に苗木は1本だけか。

事務局：基本的には1本となっていますが、ブロックの中には埋蔵種子があるので現在は正確に分からないです。

和田委員：実際には1本以上苗木があるブロックも多くあります。

蒔田会長：土壌ブロックは通常の植栽と比べて費用がどれくらい掛かるか。

事務局：試験的な実施でしたが通常の植栽と比べて8割程度となります。ただし、今後実施する場合は歩掛りを検討する必要があります。

報告事項 2

和田委員：(23年度モニタリング調査結果を資料により説明)

西村委員：島5は健全性が高いですが、こういった要因があるか。
もう一つはブナの開花結実の変動にあるその他とは具体的にどういった状況か。

和田委員：島5は他の島とは見た目の条件は同じですが、穴を掘った感触では土が良いような感じがします。開花結実のその他については獣害(ネズミ)や未熟なまま落下した種子となります。

星崎委員：実生苗の成績が良いことになっているが、島11では2009年から健全率が下がった理由としてはなにか。

和田委員：ウサギの食害の影響です。

星崎委員：各島の成長はどれくらい違うか。

和田委員：被害のあった木は成長が抑制されますが、健全な木は成長を続けるのでかなり開きがあります。

蒔田会長：島ごとに何本調査しているか。

和田委員：11本×11本です。

協議事項 1

事務局：(協議事項を資料により説明)

村田委員：北側牧場にはいつ頃植栽する予定か。

事務局：土壌改良等については8月頃を予定していますが、植栽は10月頃を予定しています。

ワザバー：来年度の土壌ブロック移植はどれくらい予定しているか。

畠山氏

事務局：来年度の植栽箇所近隣にはブロックを採取できる場所がないので、実施はできません。

村田委員：土壌ブロックを移植した箇所についてもモニタリング調査の対象となるか。

事務局：森林技術センターに調査を依頼しています。

星崎委員：自然再生活動推進費で実施する事業については具体的にどのようなものを考えているか。

事務局：小学生を対象とした環境教育や都市住民と地域住民による植樹を考えています。目的としては、地元の方々に森吉に足を運んでもらい、将来的に再生事業へ参加していただけるようなキッカケを作りたいと考えています。

西村委員：阿蘇の草原再生では小学生に出前講座を行ったり、都市部の住民に呼びかけた再生事業を展開しているので、森吉でも地元や周辺地域の受益者等へ呼びかける仕掛けが必要かと思います。

村田委員：将来的には地域と協働できるようにした方がよい。

蒔田会長：では次回の協議会で具体的な内容について検討します。

蒔田会長：今年、学生が森吉で土壌の調査を行ったが、耕耘で土壌条件が若干改善される雰囲気がある。一方では全面積耕耘すると草本層がなくなるデメリットもあります。

福森委員：ノロ川地区はメジャーな場所ではないので、地域と都市部を結びつけて人を引き込むのは難しいところです。

西村委員：企業とタイアップした複合的な形にしないと地元だけでは難しいか
と思います。

福森委員：森吉は企業の森の対象地になっていたか。

事務局：企業の森の募集対象地になっていますが、応募はないです。

蒔田委員：森吉以外で企業の森に手を上げているところはあるか。

宮崎委員：現在はトラックの森、県有地、民有地のまとまった箇所を借りて
いただいています。昨年、森吉も MORIMORI ネットワークがバースデー
ランドとして植樹しましたが、対象エリアが大きく今後の予算の目
処が立っていないので後がなかなか続かない状況となっています。
予算が無くなると今まで手がけた物が切れてしまうことになるので、
我々県としても努力したいと考えております。

西村委員：環境省の交付金ですが、事業が無くなった訳ではない。平成24年
度からは一括交付金として組み込まれており、事業の廃止となって
はいないので誤解のないようにお願いします。

蒔田会長：なかなか厳しい状況ですが、植樹が面的に8割程度終了している
ということですが、今後の計画について抑えておく必要がある。

宮崎委員：委員の方に予算と計画について次回説明します。

蒔田会長：来年度は早めの開催がいいと思いますので、よろしくをお願いします。

その他

事務局：情報提供について（資料により説明）

蒔田会長：キャンプ場はどれくらいの利用があるか。

事務局：泊まりと日帰りを加えると1000人くらいとなっています。

西村委員：野生鳥獣センターはどれくらい利用者がいるか。

おがサ-パ-: 前年度は6000人でしたが今年は5500人程度となっています。
畠山氏

石崎委員: キャンプ場の指定管理を村田委員の方へお願いしていますが、来年
(代理) 度は定期的な植樹活動についても協議しているところです。

蒔田会長: まだまだ課題もありますが、本日はこれで終了します。

(閉会)